

# 一般質問

田村 三郎 議員

活目  
かざ  
せせ  
観全  
光体  
ソ訓練  
ース！

**問** 防災の日及びその近日に、本町ではどのような訓練をしたのか。

**答** (町長) 9月1日に、久賀小・中学校のグラウンドで、消防防災ヘリコプター「きらら」による救助訓練や、ゆさゆさ号による地震体験等を行った。又消防団東和支部23分団中、18分団が9月1日に自主的に消防訓練を実施した。9月3日には、自主防災組織「家房自治会」が、大地震を想定して訓練をした。消防団久賀支部も9月17日実施。その他の地区でも訓練等を予定している。

**問** 久賀小、中学校の訓練は県が中心となって実施したのでは。町もタッチしたのか。

**答** (総務課長) 県が中心となって実施したが、町も関係機関で協力して行った。

**問** 南海、東南海地震の防災対策推進地域に指定されている本町としては、町を挙げ実施すべきでは。

**答** (総務課長) 考慮して行きます。

**問** 本町には源平ロマン、幕末ロマン等の数々の名勝があるが、観光資源として活用する対策等を講じているのか。

**答** (町長) 町としても文化財保護審査会委員の方々を中心に、現地調査をはじめ、色々な面から文化的価値を判断する作業を継続している。観光協会等と協議し、前向きに取り組みたい。



久賀地区 明治百年公園



広田 清晴 議員

基  
地  
機  
能  
の  
願  
い  
の  
強  
化  
ス  
ト  
ッ  
プ  
!!

**問** 住民自治を充実する立場から、町政の重要事項について町民が直接判断できる、常設の住民投票条例の設置が必要と考える。

**答** (町長) 住民参加の観点から考えると評価に値するが、住民どうしのしこり等が起こる事が懸念されるので、設置は考えていない。

**問** 岩国基地問題に対する町長の態度は、安全・騒音問題に不安を抱える町民の立場とは相入れない。基地問題に不安をいなく町民の気持ちを裏切った行為との認識はあるのか。

**答** (町長) 閣議決定がされた以上、前に進む事が良いと考えた。安全、安心の町づくりから行った事で撤回は困難。民意を

裏切ったと考えていない。

**問** 町長は閣議決定された事を理由に、現実的対応と態度変更を合理化しているが、沖縄普天間基地問題に見られる様に、住民、首長、議会が一緒の行動をすれば、例え国が閣議決定して地方に押し付けようとしても進まないのが実態。戦後の民主主義、町長の認識は。

**答** (町長) 閣議決定後7年、国の提案の方向で進んでいない実態は承知している。

**問** 町長の態度は岩国市で行われた、住民投票、市長選挙で示された岩国市民の意思に対し水をぶっかけ、裏切る行為では。

**答** (町長) 岩国市、周防大島町とも固有の自治体と考えるので、そのような認識はない。

**意見** その他大島病院についてと、学校統合問題についての提言等を行った。

